



▶和歌山県田辺市

聖地巡礼を導く 悠久の自然を守りたい

田辺市は、「紀伊山地の霊場と参詣道」として、ユネスコの世界文化遺産に登録された「熊野古道」を有するまちです。

市では、同じく巡礼の道として世界遺産登録されている「サンティアゴへの巡礼道」のある、スペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラ市との連携事業、公衆トイレの整備、外国人旅行者のための多言語案内看板の設置等の事業にふるさと納税を活用しています。

さらに、平成29年に基金を設置し、熊野古道周辺の手入れが行き届いていない森林の間

伐や枝打ち等の古道の環境整備などを進めています。

寄附者の方々にはふるさと納税の活用実績を田辺市観光パンフレット等とともに毎年送付し、ふるさと納税を通じて田辺市を継続して応援いただけるような関係が築けるように心掛けています。



熊野古道（熊野本宮大社旧社地「大斎原（おおゆのはら）」の鳥居）



熊野古道中辺路ルート（発心門王子付近）

注力した点や工夫した点

ふるさと納税の申込を希望される方からの電話や郵便での問い合わせの際に、熊野古道に関する案内をするなど、寄附者の方との接点を大切にして取組のPRを行いました。

Check

取組の効果

サンティアゴ・デ・コンポステーラ市と共同で始めた事業では、「サンティアゴ巡礼道」と「熊野古道」の両方の道を踏破された方が3年弱の間に約1,000人に上っています。市内の外国人宿泊客も大幅に増えるなど熊野古道の魅力が着実に世界に認知され始めています。

また、古道の維持補修のための市民参加型イベント「熊野古道道普請ウォーク」では、熊野古道の歴史を学んでいる地元小学生「語り部ジュ

ニア」から話を聞きながら熊野古道を歩くことで、市民が地元の魅力を再確認しました。

ふるさと納税が、熊野古道の魅力発信と、市民一体となった保全活動に役立っています。



市民による熊野古道での道普請の様子



熊野古道語り部ジュニア（地元の小学生が熊野古道の歴史について説明）

寄附者の声



・熊野古道を歩くのが好きで第二のふるさとのように感じております。これからも応援していきたいと思っております。

住民の声



・今後も市民一体となって、「おもてなしの心」でお迎えしてまいりたいと思っております。